

表1. 近世期、松江廻船の越後・能登への活動

地域	町/村/浦	初出年次	船主	反帆	主な積荷（累積）	特記事項（活動形態・他村船頭）
1 松江町方	白潟本町	（近世）	森藤屋			沖船頭・加賀浦磯右衛門
2 松江町方		寛政9	1797 伊野屋	15		沖船頭・加賀浦五兵衛（嘉永3）
3 松江町方		享和2	1802 片向屋			
4 松江町方		享和2	1802 与吉			
5 松江町方	灘町	文化3	1806 肥後屋			2艘で入津（文化3） 方船船頭・加賀浦藤五郎（文化5）
6 松江町方		文政2	1819 嶋屋			
7 松江町方		文政6	1823 綿屋	鉄		沖船頭・加賀浦福重（嘉永4） 沖船頭・加賀浦紋四郎（嘉永5） 方船船頭・加賀浦権兵衛（嘉永5） 方船船頭・加賀浦善助（嘉永5）
8 松江町方		文政6	1823 小屋			
9 松江町方		文政8	1825 森山屋			
10 松江町方		文政10	1827 木村屋			
11 松江町方		文政10	1827 伊野山屋			
12 松江町方		天保4	1833 古津屋			沖船頭・加賀浦亀四郎（天保4） 沖船頭・加賀浦福重（天保8、弘化2）
13 松江町方		天保6	1835 松田屋			
14 松江町方		天保6	1835 福山屋			
15 松江町方		天保9	1838 竹内屋			沖船頭・加賀浦久兵衛（天保9）
16 松江町方		天保11	1840 吉田屋	18		沖船頭・穴道町平助倅（天保11） 沖船頭・加賀浦意三八（慶応元以降）
17 松江町方		天保13	1842 佐渡屋			沖船頭・加賀浦久兵衛（天保13）
18 松江町方		天保15	1844 小西屋			
19 松江町方		弘化3	1846 松屋	14～15	鉄・板石・五六石・甘茶	沖船頭・加賀浦五兵衛（弘化4）
20 松江町方		弘化5	1848 因幡屋	鉄		
21 松江町方		嘉永3	1850 針屋			
22 松江町方		嘉永4	1851 西尾屋			
23 松江町方		嘉永5	1852 山根屋			
24 松江町方		嘉永5	1852 伴三郎			
25 松江町方		安政2	1855 玉造屋	12～18	木綿・鉄・からっ	
26 松江町方	紙屋町	安政3	1856 赤木屋	12		
27 松江町方		安政3	1856 米田屋	14		
28 松江町方	立町	万延2	1861 箒屋			
29 松江町方		文久2	1862 久保田	13	木綿・古手・鋳・板石・鉄・太白	
30 松江町方		文久3	1863 木幡屋		米子綿・木綿	
31 松江町方		文久4	1864 のりや	15	さらし木綿・鉄・染物	
32 松江町方		慶応3	1867 塩原屋		鉄・木綿	
33 松江町方		慶応4	1868 住吉屋		木綿・米子綿・素麺・針金・板石	
34 松江浦方	加賀浦	寛政10	1798 桑屋			方 船：御手船
35 松江浦方	加賀浦	文政2	1819 長木屋			
36 松江浦方	加賀浦	文政6	1823 今津屋			
37 松江浦方	加賀浦	文政10	1827 忠兵衛			
38 松江浦方	魚瀬浦	嘉永4	1851 屋敷	13		
39 松江浦方	穴道村	安政4	1857 木屋	15	三ツ切塩・木綿・鋳	
40 松江浦方	室喰浦	慶応3	1867 小灘屋			
41 松江浦方	加賀浦	慶応4	1868 為蔵			

出典）『能登国福浦港佐渡屋 諸国御客船帳』、『出雲崎町史 海運資料編3』

表2-1 国別伊万里津積出し陶器荷高(天保6年)

国・地域	荷高 (千俵)	%
江戸	60.0	19.3
関八州(江戸以外)	50.0	16.1
大坂	36.0	11.6
伊勢	16.0	5.2
備前	13.0	4.2
駿河	9.0	2.9
越後	9.0	2.9
伊予	7.5	2.4
豊後	7.0	2.3
長門	7.0	2.3
出雲	6.5	2.1
出羽	6.0	1.9
備中	5.5	1.8
越前	5.5	1.8
讃岐	5.0	1.6
安芸	5.0	1.6
紀伊	5.0	1.6
越中	5.0	1.6
土佐	4.0	1.3
三河	4.0	1.3
因幡	4.0	1.3
丹州	4.0	1.3
播磨	3.5	1.1
阿波	3.0	1.0
南部	3.0	1.0
摂津	2.5	0.8
加賀	2.5	0.8
日向	2.0	0.6
近江	2.0	0.6
若狭	2.0	0.6
秋田	2.0	0.6
備後	1.5	0.5
美作	1.5	0.5
尾張	1.5	0.5
仙台	1.5	0.5
津軽	1.5	0.5
筑前	1.0	0.3
豊前	1.0	0.3
大和	1.0	0.3
堺	1.0	0.3
隠岐	1.0	0.3
石見	0.6	0.2
松前	0.5	0.2
合計	310.1	

出典)「伊万里歳時記 卷之二」『日本都市生活史料集成』10

表2-2 商人別積出し陶器荷高(天保6年)

国名	荷高 (千俵)
筑前商人買高	200
紀州商人買高	60
其外(伊予・伊豆・上関・越後旅客)	50
合計	310

出典)表2-1に同じ。

注1)ゴシック部は、史料値ではなく表2-1をもとにした概算値。

表2-3 伊万里津国別旅客下宿(天保6年)

国名	宿(軒)
筑前宿	10
紀州宿	4
越後宿(内、合宿1)	2
周防宿(内、合宿1)	2
伊予宿	1
出雲宿	1
下関宿(合宿)	1
石見宿(合宿)	1
阿波宿(合宿)	1
其他宿(合宿)	1

出典)表2-1に同じ。

表3. 近世後期における秋鹿・島根郡浦方の廻船

郡	村浦	船主	石積	人乗	年代
島根	本庄町		110		弘化4
島根	森山村		45		弘化4
島根	三保関		65		弘化4
島根	三保関		90		弘化4
島根	稲積浦		35		弘化4
島根	笠浦		70		弘化4
島根	加賀浦	今津屋弥三太	80		天保5
島根	加賀浦	松本屋弥助	84		天保5
島根	加賀浦	奥吉助	70		天保5
島根	加賀浦	浜津屋喜右衛門	84		天保5
島根	加賀浦	喜佐屋喜三郎	150		天保5
秋鹿	片匂村	善助		2	文政13～天保6
秋鹿	手結村	喜右衛門		2	文政13～天保2
秋鹿	手結村	猶兵衛		2	天保3～天保9
秋鹿	東長江村	理蔵		2	文政12～天保5
秋鹿	下伊野村	弥三次	65		文政12
秋鹿	下伊野村	弥三次	50		文政12
秋鹿	大垣村	彦三郎	30		文政12
秋鹿	魚瀬浦	長五郎	120	3→4	文政12～天保8
秋鹿	魚瀬浦	和三郎		4	天保9
秋鹿	大垣村	理助	56		2 文政12～天保8
秋鹿	大垣村	理三郎	75		2 文政12～天保9
秋鹿	大垣村	廣助	43		文政12
秋鹿	大垣村	幸左衛門	40		文政12
秋鹿	大垣村	忠助	38		文政12
秋鹿	大垣村	忠左衛門	38		文政12
秋鹿	秋鹿町	清四郎	47		文政12
秋鹿	秋鹿町	平蔵	50		文政12

出典) 寺本家文書41「東組村々戌納船役銀御差紙写」、池尻家文書69「御用留」
『島根町誌』286-289頁。

表4. 小型廻船の年間活動

船主	年	二十四節気																							
		立春	雨水	啓蟄	春分	清明	穀雨	立夏	小満	芒種	夏至	小暑	大暑	立秋	処暑	白露	秋分	寒露	霜降	立冬	小雪	大雪	冬至	小寒	大寒
長五郎 (魚瀬浦/ 120石積)	文政12																	長州						尾道	
	// 13	尾道							若狭				大坂												
	天保2			尾道				尾道			若狭		兵庫											隠岐	
	// 3	隠岐						尾道		大坂		若狭													
	// 4			尾道				尾道			若狭			尾道											
	// 5							尾道			尾道				尾道										
	// 6						???							尾道											
	// 7				尾道			長州					長州			長州							大坂		
// 8							長州					長州							尾道						
理三郎 (大垣村/ 75石積)	文政12	隠岐																							
	// 13																								
	天保2																								
	// 3																								
	// 4																								
	// 5																								
	// 6																								
	// 7																								
// 8																									
善助 (片匂村/ 2人乗)	文政13																								
	天保2								因幡			因幡									隠岐				
	// 3										隠岐													隠岐	
	// 4											若狭													
	// 6													若狭				石見							

出典) 池尻家文書「御用留」
注1) 点線は日付不明を示す。